

会 議 録

審議会等の 名称	平成28年第14回教育委員会（定例会）
開催日時	平成28年11月24日（木） 14：00～14：45
開催場所	山口市役所別館1階第2会議室
公開・部分公開の区分	部分公開
出席者	宮原委員長職務代理者、横山委員、佐藤委員、岩城委員
欠席者	大野委員長、佐々木委員、竹内委員
事務局	山根教育部長、末貞社会教育担当理事、眞砂教育総務課長、伊藤教育施設管理課長、江山学校教育課長、山見社会教育課長、原田文化財保護課長、中原中央図書館長、石川教育総務課主幹、岡本教育総務課副主幹
付議案件	議 案 (1) 議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について (平成28年度教育費補正予算) 報告事項 (1) 「松田屋ホテル庭園」の登録記念物（名勝地関係）への答申について (2) 図書館に関する市民意識アンケートの集計結果について
	<p>宮原委員長 職務代理者 ただいまから、平成28年第14回教育委員会（定例会）を開会いたします。本日は、大野委員長が御欠席されておりますので、委員長職務代理者でございます私が委員長にかわり議事を進行させていただきます。会議録の署名につきましては、佐藤委員さんと岩城委員さんをお願いしたいと思います。</p> <p>本日は、議案1件、報告2件となっております。</p> <p>それでは、まず、公開・非公開を確認いたします。</p> <p>議案第1号につきましては、市議会に上程する案件でございますので、非公開にしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。非公開に賛成される方は、挙手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（全員挙手）</p> <p>それでは、議案第1号については、「山口市教育委員会会議規則第9条の2」に基づき、秘密会により審議いたします。</p> <p>本日は、審議する順番を公開できるものから始めたいと思います。それでは、報告第1号の「松田屋ホテル庭園」の登録記念物（名勝地関係）への答申について、事務局から説明をお願いします。原田課長。</p> <p>原田文化財 保護課長 報告第1号の「『松田屋ホテル庭園』の登録記念物（名勝地関係）への答申」について、御説明申し上げます。</p>

資料、議案集①の5ページ、参考資料②の26、27ページをお開きください。

先週の金曜日、19日に開催されました文部科学省文化審議会で、文化財分科会の審議・議決を経まして、新たに本市に所在する「松田屋ホテル庭園」の登録記念物への登録を文部科学大臣に対して答申いたしましたところでございます。

これにより、松田屋ホテルの登録記念物への登録が内定したところでございます。なお、記念物登録（名勝地関係）の答申は、県内では平成20年5月「常盤公園」（宇部市）に続く3例目、山口市内では平成27年6月の「山水園庭園」に続く2例目となります。

それでは、参考資料28ページの位置図を御覧ください。

皆様御承知のように、松田屋ホテルは山口市中央部の湯田温泉の中心地にございまして、温泉街を南西から北東に向かって走る県道204号線に面して建つ老舗旅館でございます。創業は延宝3年、1675年と伝えられ、幕末の動乱期に志士たちが逗留したことでも知られ、現在でも、山縣有朋の命名による「快活楼」、伊藤博文の命名による「群巒閣」など、元勳命名の建物が残っております。

それでは、参考資料29ページの写真と、本日配付させていただきました松田屋ホテルからいただきました庭園の案内図、こちらのチラシを御覧になってください。

松田屋ホテル庭園は、江戸時代中期の1770年代には庭園の原形が存在し、主に江戸末期（1860年代）と明治中期（1880年代）に手を加えられたと伝わっており、詳細は不明でございますが、当時は水が供給できなかったため、枯山水の庭であったようでございます。現在の滝水は大正初期に掘られた井戸からポンプで汲み上げられており、当初は真水であったといわれておりますが、近年は高温の温泉水となってしまったため、木製の樋で一旦温度を下げ、三段の滝より池泉に伝い風に落としております。建物と庭園とが現在の形にほぼ整ったのは大正初期と考えられております。

庭園は快活楼、群巒閣などの建物の東側に広がり、高さ約4メートルの三段の滝、緩やかに蛇行する流れ、池泉等がつくられております。水辺の護岸は低めの石が組まれ、随所に灯籠が配置されております。流れや池泉には石橋や木橋が架かるほか、沢飛石も打たれ、園内を回遊することができます。

古写真と比較すると、基本的な地割と構成は当初の形態で良好に保存されており、温泉宿に整備された近代の庭園として、山口県の造園文化の発展に寄与した意義深い事例として高く評価されております。

市といたしましては、松田屋ホテルの建物群とともに、所有者と連携し、この庭園の適切な保存を図り、地域資源といたしまして積極的に活

	<p>用を進めてまいり所存でございます。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>報告第1号について、御意見や御質問はございませんか。佐藤委員。</p>
佐藤委員	<p>報道されたものだと思いますが、26ページの文章がわかりませんでした。記念物登録の答申は、県内では平成20年5月の常盤公園に続く3例目、山口市内では平成27年6月に続く2例目となっているのですが、山口市も県内なので、続くのであれば、平成27年6月に続いていると思います。表現として、通っていないような気がします。</p> <p>何々に続くということは、すぐ前を言うことですよ。山口市内で平成27年6月にあったということは、山口県内の1つ前は平成27年6月ではないかと思ったのですが、3例あるのかどうかわかりませんが、日本語として。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>原田課長。</p>
原田文化財 保護課長	<p>報道資料の意味するところは、山口県内で3例目ということで、佐藤委員がおっしゃるように平成27年6月の山水園庭園に続く答申でございます。市内では、2例目となります。言葉のかかり具合について、疑義があったものと認識しております。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>日本語の「続く」のところが正しくはなかったようですね。</p> <p>何か御質問がありますか。</p>
佐藤委員	<p>ちょっと気になっただけです。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>よろしいですか。</p> <p>では、ほかに何か御質問はございませんか。</p> <p>それでは、本日配布いただいた絵には、建物が手前と左側にあります。建物の名前は、「萩の間」、「快活楼」、「群巒閣」の3つがありますが、どれに当たるのですか、教えてください。原田課長。</p>
原田文化財 保護課長	<p>庭の中ほどに「出島」という表記がございます。それから下に池がありまして、その池に軒先がかかっている建物、こちらが快活楼でございます。群巒閣は快活楼の右手下でございますが、こちらの図面上では、省略されております。</p> <p>左の建物につきましては、萩の間ということでございまして、萩の間棟というふうに言われているものでございます。</p> <p>報道資料の写真では、一番上のものが快活楼の2階から池、出島を見た写真になっております。中ほどの写真が反対側から見たものでございまして、庭園から快活楼を望んだものになっております。</p> <p>一番下の写真が、チラシの左側の建物から出島等を写したもので、萩の間棟の前から庭園及び快活楼を望むということになります。本日配布</p>

	<p>の挿絵では左にあるのが萩の間でございまして、池に面しているのが快活楼ということになります。</p>
宮原委員長	わかりました。
職務代理者	写真の真ん中は、芝生になっているのでしょうか。
原田文化財 保護課長	出島につきましては、おおむね芝生が植栽されておりまして、芝生の中に散策ができるように飛び石が置かれておりまして、芝を傷めないような形で飛び石の上を歩いて、庭を回遊できるつくりになっております。
宮原委員長	面積も書いてありますが、どれぐらいの広さかというイメージがわからないのですが。真ん中の写真は、かなり広いように見えるのですけれども、この部屋ぐらいの感じですか。
原田文化財 保護課長	<p>真ん中の写真は高角系のレンズで撮っておりますので、開けた形になっております。</p> <p>一方、快活楼2階から庭園を望む一番上の写真における出島の芝生広場につきましては、それほど大きくない形で撮っております。これは望遠系のレンズで撮っておりますので、こういう形になっております。レンズの特性に関係しております。</p>
宮原委員長	わかりました。ありがとうございました。
職務代理者	<p>ほかに何かございませんか。</p> <p>それでは続きまして、報告第2号「図書館に関する市民意識アンケートの集計結果について」、事務局からお願いします。中原館長。</p>
中原中央図 書館長	<p>報告第2号「図書館に関する市民意識アンケートの集計結果」につきまして、御説明いたします。</p> <p>議案集①は6ページでございまして、あわせて議案参考資料③は、1ページから17ページの全部でございまして、</p> <p>まず、議案参考資料③の1ページを御覧ください。このアンケート調査の概要でございまして、</p> <p>調査の目的といたしまして、次期図書館サービス計画である第3次山口市立図書館サービス計画の策定にあたり、第3次とは、平成30年から34年度の計画でございまして、計画策定の基礎資料として、参考とするため実施いたしましたものでございまして、</p> <p>調査の対象といたしまして、山口市に在住する18歳以上の市民を、各地区の人口の数値に比例し、サンプルの地域が片寄らないように配慮いたしまして無作為抽出してございまして、7月下旬に郵便でアンケートを発送し、8月末日を期限に、郵便で回収いたしております。</p> <p>2,024人にアンケートを発送いたしまして、回収結果といたしまして、調査対象者は2,006人、有効回答者は632人、回収率は31.5%となっております。</p> <p>本市の人口約11万7,000人からいたしますと、統計学的には、400人以上のサンプルを集めればよいということになってございまして、</p>

その数値を上回ったところでございます。

Ⅱの回答者につきましては、女性が全体の6割を占めておりまして、男性より多くなっております。

2ページを御覧ください。

年齢別でございますが、回答数は、50歳代の18.8%を筆頭に、40歳代、65歳から69歳、75歳以上が多く、構成比の15%以上を占めております。

3の職業別でございますが、回答数は、会社員等が33.4%と多く、無職、パート等、家事専業と続いております。

3ページを御覧ください。

地域別でございますが、人口の多い、小郡地区の12.5%を筆頭に、大内地区の11.1%と多く、南部地域の名田島地区が0.6%と最も少なく、秋穂二島、佐山、陶、鑄銭司、小鯖地区が1%台と少なくなっております。

Ⅲの調査結果でございます。

問5の「あなたが過去1年の間に、最もよく利用した市立図書館はどれですか。」という問いでは、「どれも利用したことがない」が47.9%と最も多くなっておりまして、規模の大きい中央図書館が34%、小郡図書館が8.4%と続き、続いて阿知須、秋穂、徳地、阿東、移動図書館の順に多くなっております。

4ページの下段を御覧ください。

ここでは、「どれも利用したことがない」の割合が高いことから、利用なしの場合と、いずれかの図書館を利用したことがある人について、分析を行っております。

「どれも利用したことがない」と答えられた47.9%の方のうち、男性が半分以上の51.2%を占めておりまして、女性は半分以下の46.8%となっております。

5ページ上段を御覧ください。

また、年代別のクロス集計をしてみますと、10歳代の利用が多く、次いで40歳代、20歳代、30歳代と続き、65歳から70歳代と75歳以上の利用が少なくなっております。

5ページの下段を御覧ください。

また、職業別クロス集計では、学生の利用が多く、次はその他でございます。このその他というのは、育児休業や介護休職中の方でございますが、そしてその次はパート等、家事専業、会社員等と続き、自営等や無職の方の利用が少なくなっております。

続きまして6ページを御覧ください。

居住地別クロス集計では、中央図書館のある白石地区や、学生の多い平川地区、小郡図書館のある小郡地域では「利用あり」の割合が高く、

旧山口市南部地区では、「利用あり」の割合が低くなっております。

7ページを御覧ください。

問6では、どの図書館も利用したことがない方に、その理由を聞いております。

この問いでは、「本等は購入する」が146件と一番多く、「情報は他メディアで入手する」が123件、「行く時間がない」が84件、「図書館を使う必要性を感じない」が75件という順で続いております。

8ページ上段を御覧ください。

問7では、いずれかの図書館を利用された方で、その図書館の利用頻度を聞いております。年に1回から数回程度の利用者が45.5%で一番多く、次に月に数回の利用者が30.2%と続き、月に1回程度の利用者が18.4%、毎週のように利用する人が5.6%となっております。

8ページ下段を御覧ください。

問8では、図書館をどんな目的で利用したのかを聞いております。

「資料の貸し出し」が226件と最も多く、次に「館内での読書」が146件、「自習と調べもの」が54件で続き、「行事参加」が29件と続いております。

9ページ下段から10ページの上段を御覧ください。

問9では、図書館利用について、分類として、中央図書館、南部の拠点でございます小郡図書館、そして4つの地域館を他地域館、それと移動図書館と地域交流センターへの配本サービスをBM・配本等、4つのひとつの括りとして、それぞれのサービスの満足度を聞いております。

(1)の開館時間については、開館時間の短い他地域館が、やや不満、不満の合計で23.5%と高くなっています。

10ページの下段を御覧ください。

(2)開館日数につきましては、満足な人の割合が、祝日開館をしている中央図書館で多くなっており、利用できる日が少ない、移動図書館、配本サービスで低くなっております。移動図書館は、1週間に1回、配本サービスは、地域交流センターが開いており、月曜から金曜日の8時半から5時15分でございます。

11ページ上段を御覧ください。

蔵書構成、これは、本や雑誌、新聞などの種類や量についてでございますが、規模の小さな他地域館で、他に比べて不満足な割合が高くなっております。

11ページ下段を御覧ください。

わかりやすい本の配列や企画展示など、本を手に取りたくなる工夫で、移動図書館では満足な人の割合が低くなっております。数が少ないということもございます。

12ページ上段を御覧ください。

レファレンスサービス、調べもののお手伝いですが、いずれの館でもわからないと回答された方の割合が他地域館の38.7%を筆頭に一定の多さになっておりますが、いずれの館もやや不満、不満の割合は、割合の高い中央図書館でも3.4%と少なくなっております。わからないというのは、レファレンスサービスそのもののPR不足もあろうかと思っております。

12ページ下段を御覧ください。

(6) 図書館の施設や設備についてでございますが、他の館に比べて、中央図書館で満足の割合が38.6%と最も高くなっております。

13ページ上段を御覧ください。

講演会や講座、おはなし会、上映会などの行事・イベントでは、どの館もわからないという回答が多く見られておりますが、中央図書館の満足、やや満足の割合が25.2%と高くなっております。

13ページ下段でございます。

職員の対応についてでございますが、どの館も比較的満足な人が多くなっておりますが、他地域館で、やや不満な人の割合が少し高くなっております。

14ページを御覧ください。

ここからは、中央図書館についてでございますが、問10であなたが、今後図書館がコストをかけて重点的に進めるべきと考える機能・サービスは何でしょうかと聞いております。

「大人のための環境提供」が256件でもっとも多く、次に、「子どもための読書提供」が156件、「蔵書充実」が155件と続いております。その次が、「自習環境提供」が142件、「時間延長」が128件、「大人向け行事充実」が115件となっております。

15ページを御覧ください。

ここでは「利用あり」と「利用なし」の人ごとに、今後、図書館がコストをかけて重点的に進めるべきサービスの結果を分類いたしております。

利用していられる方では、「大人のための環境提供」が139件、「蔵書充実」が117件、「自習環境提供」が86件と多く、「利用なし」の人では、「大人のための環境提供」が115件、「子どもための読書提供」が71件、「特になし」が61件と多くなっております。

16ページを御覧ください。

問11では、今後図書館が充実すべきと考える資料はどれですかというふうに聞いております。

「趣味・教養書」が286件でもっとも多く、「実用書」が198件、「小説など」が192件と続いております。

17ページを御覧ください。

	<p>ここでも、これを「利用あり」の人と「利用なし」の方で分類しております。図書館が充実すべき図書館資料の調査結果で、「利用あり」の人では、「趣味・教養書」が166件と一番多く、「小説など」が114件、「実用書」が109件と続きます。</p> <p>「利用なし」の人では、「趣味・教養書」が118件と一番多く、「実用書」が89件、「小説など」が77件と続いておりました。</p> <p>以上が、アンケート調査結果の大まかな報告ですが、図書館内部で、このアンケート結果についてしっかりと分析を加えまして、来年度に策定していく次期図書館サービス計画である、第三次山口市図書館サービス計画の策定に向けた検討に使ってまいりたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、報告第2号について御意見、御質問はございませんか。佐藤委員。</p>
佐藤委員	<p>まず1点の質問ですが、対象が偏らないように18歳以上の人から無作為抽出であると言われましたが、単純無作為抽出ということですか、それとも層化抽出ということですか。</p>
中原中央図書館長	<p>地域から拾い上げるサンプルを、数値を決めて単純に無作為抽出をしております。</p>
佐藤委員	<p>層化抽出ということですか。</p>
中原中央図書館長	<p>はい、そうです。</p>
佐藤委員	<p>層化無作為抽出ということですね。ありがとうございました。</p> <p>それから、結果の書き方について気になる点があります。「満足」と「やや満足」を満足度に入れた「満足」の人ということで一緒にされて、「不満」と「やや不満」を「不満足」と言うか、不満と思っている人の割合というところで、表現がところどころ微妙に違っています。例えば10ページの上のところ、開館時間が短い他地域間でやや不満のある人が他に比して多くなっているという、「やや不満」と答えた人が多いように受け取れるのですが、本当は、これは不満がある人、ほかのところと言うと、不満足な割合が他に比してやや多くなっているものと思います。同じものをほかのページで見ると、「やや不満」というところが、2カ所くらい表現が出て来ます。また、13ページにも「やや不満」と書いてありますが、これは数値を見ると「やや不満」というのが多いということが言いたいのではないかと思いました。設問によって「やや不満」と「不満」を分けたり、一緒にしたりすると、読み手としたらわかりにくい気がして、何が、誰が、利用が多いのかと言っても、「多い」の2つしかないので、利用ありについてばかり書くのであれば、「利用あり」は何々が多いと書いて、「利用なし」を取り上げるのなら「利用</p>

	<p>なし」は何々が多いというか、そのあたりを統一されたほうが、結果としては比べやすいと思います。読んでみると恣意的というか、言いたいことを言う、あんまり抽象的な表現になっていないような気がします。以上です。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>ほかに何かございませんか。</p> <p>1つ質問ですが、このアンケートには、自由記述の欄はなかったのですか。</p>
中原中央図 書館長	<p>自由記述の欄もございますが、その回答内容は千差万別でございます。現在、取りまとめ中でございます。本日は、取り急ぎ、大きなところだけを挙げさせていただいたところでございます。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、自由記述の御意見につきましては、また今後、見せていただけたらと思います。</p> <p>図書館アンケート関係は、これでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議案に移ります。</p> <p>議案第1号の「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出（平成28年度教育費補正予算）について」、事務局からの説明をお願いします。伊藤課長、お願いします。</p>
伊藤教育施 設管理課長	<p>議案第1号 「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について」説明します。</p> <p>資料①、議案1ページから4ページを御覧ください。あわせて資料②、議案参考資料では1ページから25ページでございます。</p> <p>今回、教育費として本年度予算の補正をいたしますのは、議案4ページ、下から5行目小学校費7億7,835万円、中学校費2億3,341万円、計10億1,276万円を追加計上するものでございます。</p> <p>まず、歳入から御説明いたします。</p> <p>議案参考資料②の2ページ、3ページを御覧ください。款15 国庫支出金、項2 国庫補助金、目7 教育費国庫補助金のうち、小学校費補助金につきましては、学校施設環境改善交付金として1億7,523万9千円、中学校費補助金につきましては学校施設環境改善交付金として4,600万円を、それぞれ増額いたすものでございます。これは、後ほど歳出で御説明いたします小学校施設長寿命化事業費、小学校施設安心安全推進事業費、中学校施設安心安全推進事業費に係る国庫補助金でございます。補助率は3分の1となっております。</p> <p>続きまして、議案参考資料②の4ページ、5ページを御覧ください。</p> <p>款22 市債、項1 市債、目9 教育債のうち、小学校債につきましては小学校校舎等整備事業として5億4,490万円を、中学校債につきましては中学校校舎等整備事業として1億8,370万円を、それぞれ増額いたすものでございます。</p>

これは、後ほど歳出で御説明いたします小学校施設長寿命化事業費、小学校施設安心安全推進事業費、中学校施設増改築事業費、中学校施設安心安全推進事業費に係る市債でございます。

続きまして、歳出について御説明いたします。同じく、18ページから21ページを御覧ください。

まず、18ページ、19ページを御覧ください。款10 教育費、項2 小学校費、目3 学校建設費につきまして、小学校費を7億7,835万円、中学校費を、次のページ、項3 中学校費、目3 学校建設費につきまして、中学校費を2億3,441万円、それぞれ追加計上いたすものでございます。

各々の事業でございますが、小学校費につきましては、22ページ、23ページを御覧ください。

22ページ、小学校施設長寿命化事業でございます。国の第2次補正に対応し、来年度予定しておりました大殿小学校校舎長寿命化改修工事、小学校トイレ洋式化工事、小学校LAN整備工事に係る費用につきまして事業を前倒しして追加計上するほか、老朽化が著しい二島小プールろ過機の改修工事に係る費用を追加計上するものでございます。

23ページ、小学校施設安心安全推進事業につきましては、国の第2次補正に対応し、小学校4校につきましての屋内運動場つり天井等の撤去等の改修工事に係る費用、3校につきましての屋内運動場つり天井等の撤去等の設計に係る費用、小郡南小学校のエレベーター新設工事に係る費用、同校の多目的トイレ整備工事に係る費用につきまして、それぞれ来年度予定しておりました事業を前倒しして追加計上するものでございます。

中学校費につきましては24ページ、25ページを御覧ください。24ページ、中学校施設増改築事業につきましては、教育支援センター増築工事の設計等に係る費用について追加計上するものでございます。

25ページ、中学校施設安心安全推進事業につきましては、国の第2次補正に対応し、中学校2校についての屋内運動場つり天井等の撤去等の改修工事に係る費用、1校につきましての屋内運動場つり天井等の撤去等の設計に係る費用につきまして、それぞれ来年度予定しておりました事業を前倒しして追加計上するものでございます。

小学校中学校の屋内運動場つり天井につきましては、大地震が発生するたびに、その落下の危険性が指摘されているところでございます。本市小学校中学校の屋内運動場つり天井の撤去状況は、23ページの小学校施設安心安全推進事業、25ページの中学校施設安心安全推進事業のそれぞれ「その他」の表の欄でスケジュールをお示ししております。この「その他」の表の上の段が設計、下の段が工事でございます。

現在、つり天井箇所は残り19箇所となったところで、今回、国の第

	<p>2次補正に対応して前倒しで小学校4箇所、中学校2箇所のつり天井撤去を実施することで、残り13箇所に減少させることができます。また、今後もできるだけ早期につり天井対策を完了させるため、小学校3箇所、中学校1箇所のつり天井対策の設計も前倒して実施することとして、12月議会に上程するものでございます。</p> <p>説明は、以上でございます。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議案第1号について、御意見や御質問はございませんか。よろしいでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>すごく素朴な質問ですが、小学校のトイレは、洋式化が進んでいくものなのでしょうか。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>はい、伊藤課長。</p>
伊藤教育施設管理課長	<p>教育委員会といたしましては、小学校のトイレにつきましては、洋式トイレにする方向で考えているところでございます。ただし、小学生は、1年生から6年生までおまして、1年生は、まだ体格が小さい子もいらっしゃいますし、洋式化すると清掃の方式も変わりますので、十分に学校と相談しながら、洋式化を進めていきたいと考えております。</p>
佐藤委員	<p>以前、学校訪問させていただいたところも、全部洋式にしますというお話があったのですが、私も大学の女子学生を見ていると、公共の洋式トイレが使えないという人も結構おまして、例えば、それが苦手だと。大学だと圧倒的に和式のほうが人気で、汚いときには消毒を設置したり、そのあたりも子どもたちに指導、配慮が必要だというふうに少し感じたりしました。</p>
伊藤教育施設管理課長	<p>それにつきましては、小学校、中学校と協議をしておりますが、特に小学校からは、外の公衆トイレはまだ和式が多いということで、和式トイレを少し残したらという要望もございます。そういうところについては、拙速に洋式化するというのではなく、棟別に、子どもの様子をみて洋式化してみますということで、協議しながら進めてまいることにしております。</p>
宮原委員長 職務代理者	<p>それに関連して、新しく洋式化しようとしているところについては、そのトイレは全部が洋式になるのですか、それとも、学校との話し合いの中で、例えば4つの個室がある場合、1つは和式、3つが洋式というふうになっていくのでしょうか。また、既に和式、洋式の両方がある学校については、話し合いをして、全部を洋式化していくのかということも含めて教えてください。</p>
伊藤教育施設管理課長	<p>現在の状況でございますが、増築・改築、つまり建物ごと一気に建てるところでは御理解をいただきながら、全て洋式化しております。話</p>

	<p>し合いの上で和式を残したとしても、何かの機会に洋式に変更することになりますと、費用の手戻りがございますので、そうしたことを考慮いたしましたものでございます。</p> <p>また、改修するところにつきましては、話し合いの状況によりまして、まだ和式を残しているところもございます。</p>
<p>宮原委員長 職務代理者</p>	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>そのことに伴う子どもへの衛生教育もセットで行わないと、どこまで正しい認識でそれを受けるといったようなことが、わからないままに座る人たちが多くなってしまおうという気がしました。</p>
<p>伊藤教育施設管理課長</p>	<p>洋式トイレの使用というものは、ここ最近、急速に伸びてきたものでございます。学校現場でも、それに対応しつつある学校と、児童数も多いので少しずつ取り組みたい学校とか、いろいろあると聞いております。</p> <p>その辺につきましては、学校とヒアリングしながら拙速になり過ぎない程度に、衛生面の問題も考慮し、バランスをみながら、なるべく早くという方向で取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>宮原委員長 職務代理者</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにはございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは議案第1号について付すべき意見なしでよろしい方は、挙手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。それでは、原案のとおり承認いたします。</p> <p>以上で、本日の付議案件については終了いたしました。</p> <p>次回の定例会は、こちらの第2会議室で、12月22日(木)午後2時からの予定です。</p> <p>以上をもちまして、平成28年第14回教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。</p>
<p>署名</p>	<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p>平成28年11月24日</p> <p style="text-align: right;">委員長 _____</p> <p style="text-align: right;">署名者 _____</p> <p style="text-align: right;">署名者 _____</p> <p style="text-align: right;">会議録調製 _____</p>

